

## 4

### 6年竹組の夢

佐賀県佐賀郡川副町立西川副小学校

報告者 富永和重先生

「野菜、くだもの、花などを育てて売りたい。売り上げ金を募金したり、世のための役に立つことに使いたい。」

これが6年竹組の夢です。平成11年度佐賀県子どもの夢かなえ隊事業に参加しました。

隊員のサポートを受けながら、6月頃から全員でさつまいも、かぼちゃ、パンジー

などを育てました。休みの日や夏休み、学校帰りに草むしりや水やりをしたり、収穫のときは、3日間もかけていも掘り、洗い、干し、袋に詰め、みんなで協力しましたが、とても大変でした。

最後の朝市での野菜売りについて子どもの作文をお読みください。

#### 朝市

田中 美奈子

11月7日、私たち六年竹組は、川副農協で開かれる朝市で、さつまいも、かぼちゃ、かりん、パンジーを売る。朝がやってきた。普通なら眠いのになぜか眠たくない。まだ、外は真っ暗だ。星も出ている。

川副農協について野菜をならべる。「こんなにたくさんのいもが売れるわけがない。」そう思っている間に、六竹のみんなが集まってきた。「いらっしゃいませ」「さつまいもはいかがですか」お客さんはたくさん来てくれた。「なんか、私って売るのが上手かも」と何となく思った。

かぼちゃ、パンジーが完売した。でも、かりん一袋とさつまいも一袋がまだ残っている。そしたら、ある友だちがさつまいもを持って行って「あと一つのさつまいも。いかがですか」と言い出した。おじさんが買ってくれた。自然に拍手が出た。最後のかりんが売れたときは、涙が出そうになるくらいうれしかった。そしてみんなはバンザイをした。「バンザーイ、バンザーイ、バンザーイ」

完売した時刻は7時ごろ。たった1時間ですべて売り切れた。ほんとうは泣きたい程うれしかった。売れた金額は五万二千二百六十円だった。

ユニセフ学校募金に募金する時の喜びが、今にも伝わりそうだ。



佐賀新聞 1999/11/9

